

ニテンピラム粒剤 ベストガード粒剤	取扱メーカー： 協友アグリ，サンケイ*，ホクサン， 住友化学，琉産 原体メーカー： 住友化学
成分： ニテンピラム〔クロロニコチル系〕……………1.0%	性状： 淡褐色細粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 優れた浸透移行性と，低薬量で高い活性を示すため，省力的・経済的防除が可能である。
- その他，ベストガード水溶剤の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- は種時又は鉢上げ時の育苗培土混和，育苗期後半処理や定植時の植穴処理，生育期株元処理でアブラムシ類，アザミウマ類，コナジラミ類を長期間防除できる。
- 難防除のマメハモグリバエの密度抑制ができる。
- 処理量が少なく経済的である。
- 粒剤の植穴処理と生育期散布剤（ダントツ水溶剤，ベストガード水溶剤など）との組み合わせで効率的防除が可能である。

- マルハナバチを利用する場合，本剤処理後（定植後）20日目頃より後に導入する。但し，影響日数は環境条件により多少変動する場合があるので注意する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項8，適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7，ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む 農薬の総使用回数
ばれいしょ	アブラムシ類	3kg	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	5回以内 (植付時までの処 理は1回以内、植 付後は4回以内)
きゅうり	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類	5g／培土ℓ	は種時 鉢上げ時		育苗培土 混和	4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、水 溶剤の散布は3回 以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g／株	育苗期		株元処理	
	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	1～2g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
カリフラワー	アブラムシ類 アザミウマ類	セル成型育 苗トレイ1箱 又はペーパー ポット1冊 (30 ×60cm, 使用 土壌約1.5～4 ℓ) 当り50g	育苗期後半		散布	5回以内 (育苗期の散布は 1回以内、定植時 の土壌混和は1回 以内、水溶剤の散 布は3回以内)
	アブラムシ類	1g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類	セル成型育 苗トレイ1箱 又はペーパー ポット1冊 (30 ×60cm, 使用 土壌約1.5～4 ℓ) 当り50g	育苗期後半		散布	
		1g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
すいか	アブラムシ類 コナジラミ類	1g／株	育苗期		株元処理	4回以内 (育苗期の株元処 理及び定植時の土 壌混和は合計1回 以内、散布は3回 以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	1～2g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
なす	アブラムシ類	5g／培土ℓ	は種時又は 鉢上げ時	1回	育苗培土 混和	4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、株 元散布及び水溶剤 の散布は合計3回 以内)
	コナジラミ類	1g／株	育苗期		株元処理	
	アブラムシ類 コナジラミ類	セル成型育 苗トレイ1箱 又はペーパー ポット1冊 (30 ×60cm, 使用 土壌約1.5～4 ℓ) 当り50g	育苗期後半		散布	
	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	1～2g／株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類	2g／株	前日まで		生育期株 元散布	

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む 農薬の総使用回数	
ト マ ト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	5g／培土 ℓ	は種時又は 鉢上げ時	1 回	育苗培土 混和	4 回以内 (定植時までの処 理は 1 回以内、 水溶剤の散布は 3 回以内)	
		1～2g／株	育苗期		株元処理		
	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	セル成型育苗 トレイ 1 箱又は ペーパー ポット 1 冊 (30×60 cm、 使用土壌約 1.5～4ℓ) 当り 50g	育苗期後半		散布		
	アブラムシ類 コナジラミ類	1～2g／株	定植時		植穴処理 土壌混和		
	ハモグリバエ類	2 g／株					
し し と う	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1～2 g ／株	育苗期	株元処理	4 回以内 (育苗期の株元処 理及び定植時の土 壌混和は合計 1 回 以内、散布は 3 回 以内)		
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類	1 g／株	定植時	植穴処理 土壌混和			
	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	1～2 g ／株					
とうがらし類 (ししとうを除く)	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類						
メ ロ ン	アブラムシ類 コナジラミ類	1 g／株	育苗期	株元処理		4 回以内 (定植時の土壌混 和は 1 回以内、散 布は 3 回以内)	
	ミナミキイロアザミウマ	1～2 g ／株	定植時	植穴処理 土壌混和			
い ち ご	アブラムシ類	1 g／株					
ね ぎ	ネギアザミウマ	セル成型育苗 トレイ 1 箱又は ペーパー ポット 1 冊 (30×60cm、 使用土壌約 3～4ℓ) 当り 50g	定植当日	1 回	散布	4 回以内 (定植時までの処 理は 1 回以内、株 元処理及び水溶剤 の散布は合計 3 回 以内)	
		6 kg	は種時		作条処理 土壌混和		
	クロバネキノコバエ類		定植時		植溝処理 土壌混和		
	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ		前日まで	3 回 以内	株元処理		
	ネギアザミウマ	5 g／ 培土 ℓ	は種時	1 回	育苗培土 混和		1 回
	ネギハモグリバエ	6 kg	定植時		植溝処理 土壌混和		

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む 農薬の総使用回数
しゅんぎく	アブラムシ類 コナジラミ類 マメハモグリバエ	9 kg	定植時	1 回	植溝処理 土壌混和	2 回以内 (定植時の土壌混和 は 1 回以内, 株元 処理は 1 回以内)
			3 日前まで		生育期 株元処理	
レ タ ス	アブラムシ類	セル成型育苗 トレイ 1 箱又は ペーパー ポット 1 冊 (30×60 cm, 使用土壌約 1.5～4ℓ)当 り 50g	育苗期後半		散布	4 回以内 (定植時までの処 理は 1 回以内, 水 溶剤の散布は 3 回 以内)
	ナモグリバエ	0.5～1 g ／株	は種時		株元処理	
		10 g／ 培土 ℓ			育苗培土 混和	
食 用 ぎ く	アブラムシ類 ミカンキイロアザミウマ マメハモグリバエ	2 g／株	前日まで	2 回 以内	生育期 株元散布	4 回以内 (粒剤の散布は 2 回以内, 水溶剤の 散布は 2 回以内)
すいぜんじな	アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	9 kg	定植時	1 回	植溝処理 土壌混和	2 回以内 (定植時の土壌混和 は 1 回以内, 株元 処理は 1 回以内)
			3 日前まで		生育期 株元処理	
ズッキーニ	アザミウマ類	1～2 g ／株	定植時	1 回	植穴処理 土壌混和	1 回
う り 類 (漬物用)	アブラムシ類					
き く	ミカンキイロアザミウマ マメハモグリバエ	2 g／株	発生初期	4 回 以内	生育期 株元散布	4 回以内
	マメハモグリバエ					
きんせんか	アブラムシ類	1～2 g ／株				
花 き 類・ 観 葉 植 物 (きく, きんせんか を除く)	アブラムシ類	3～5 g ／培土 ℓ	定植前	1 回	培土混和	4 回以内
		1～2 g ／株	発生初期	4 回 以内	生育期 株元散布	